

# X線透視下手術板

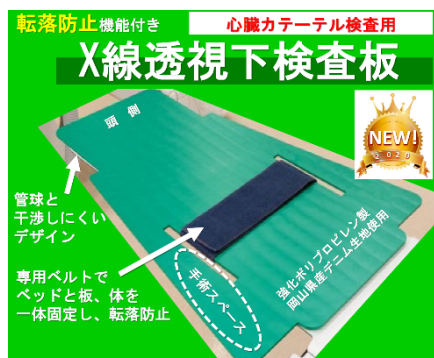
大学院医歯薬学総合研究科(医) 助教 大原 利章

X線透視下、手術板、転落防止

## 研究シーズ概要

X線透視下で行われるカテーテル挿入術において、患者が仰臥位で横たわる寝台は、X線撮影装置の管球との干渉を避けるため細幅とされています。そのため、寝台に横たわった患者、特に認知症患者等のように状況判断ができない患者が寝台上で体を過度に動かした場合に、寝台から転落するおそれがありました。今回、寝台正面に載置して使用する手術板を開発しました。この手術板によって寝台面積を拡張するとともに、患者を拘束するベルトを取り付けやすくして、患者の転落事故を防止します。

## 本件技術



### 現状の問題点

本製品のような板は、医療現場において適宜作成されているようです。特に、X線に不透過でありながら、患者の体重を支える程度の強度を必要とするため、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)が用いられることが多いようです。そのため、高コスト(100万円程度)となっているようです。

### 本製品の特徴

今回、鉄製としたことで、コスト低減を図るとともに、板厚を約7mmとして、女性一人でも取り扱える重量としています。

また、寝台の幅寸法よりも広幅として、施術に使用する機器を載置するスペースを設けており、施術謝の作業性を向上させています。



## 知財状況

・意願2020ー

## 想定用途例

- ・X線透視下で行われるカテーテル挿入術。
- ・対ヒトだけでなく対動物等、必要に応じて形状調整可能。

## 販売希望者あるいは使用希望者への要望

・有限会社ケイ・テクノに製造委託していますので、ご購入希望者は有限会社ケイ・テクノにお問い合わせください。

岡山大学 研究推進機構 産学連携・知的財産本部

担当知的財産マネージャー: 准教授 平野 芳彦

Tel: 086-251-8476 E-mail: sangaku@okayama-u.ac.jp

http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/

